



平成24年5月14日

卓話『女性知事の弟のつづやき』

日本海ガス株式会社 代表取締役社長

新田 八郎 様

こんにちは。新田と申します。10年前までは元日本青年会議所会頭の新田さんですと紹介されたのですが、姉が知事になってからは、あの北海道知事の弟さんですという紹介になってしまいました。恥ずかしいような嬉しいような感じがあります。

姉も私も富山で育ちました。学年は5つ違います。中学ではことあるたびに「お前のお姉ちゃんはこんな問題出来たぞ」と比較され、これはたまらないと思って姉と違う高校に進みました。ところがその高校に姉を教えていた先生が異動して来ており、結局同じことを言われ続けました。姉は大学を出て当時の通産省に行き、2001年、北海道経済産業局長の職に就きました。任期が終わって東京に戻ったある日、姉に北海道経済界や政界からラブコールがあったそうです。

姉から相談があるというので東京に来たところ、自民党のある先生が同席で、北海道知事選に出ないかという話でした。自民党系の組織の票があれば楽勝だということでしたが、実際には9人の候補者が乱立して、そのうちの5人のだれが勝ってもおかしくない状況でした。私も会社が本当に忙しい時期でしたが、見るに見かねて応援に行くようになり、週末を中心に17～8回北海道を往復しました。

広い北海道ですが選挙期間は17日しかありません。560万の人口のうち200万人ぐらいが札幌圏にいて、選挙戦術としては札幌周辺で半分、あとの半分で残りを回るぐらいが普通ですが、姉はやっぱり全道を回りたいということでバスで回りました。政策についても姉は私が考えますと言っ

て3日ぐらい徹夜して彼女なりの政策を作り上げました。選挙の間、それまで以上に姉と濃密に付き合ったわけですが、はたで見えてなかなかやるじゃないかというのが弟として

の感想です。結果は75万票で法定の得票を得ての1位、2003年4月に知事に就任します。慣れない仕事だったと思います。1年後、胃がんが分かり、相談の電話がありました。周りからは東京で手術することと政治家にとって病気は命取りなので秘密にするよう言われたそうです。私は公表した上で北海道で治療するように言いました。道民の皆さんとともに闘いますぐらいの演説をしながらアドバイスしたのです。結局その通りにして無事手術が終わり、今も元気にやっています。

あっという間に4年が経ち、2007年の選挙では200万近い票で再選を果たすことができました。2011年、まだやりたいことがあると言って出た3回目の選挙では全ての選挙区で勝つ完全勝利。8年経ってそれなりの実績もでき、そういうことまで出来たのは有難いことだと思っています。私も8年間見てきて、彼女の目指す政策を実現できる段階にやっと入ったのかなという気がしています。それでもやっぱり家族に政治家がいると大変です。私も皆さんにはお勧めしません。選挙の陰には苦勞している家族がいるんだということをご理解いただければと思います。

ありがとうございました。

